

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	図書館奉仕事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	10	05	07	02	51
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	図書・博物館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	小栗 信一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	図書館の利用者	意図	図書館を気軽に利用でき、満足のいく図書館サービスを受けられるようにする。
事業内容	図書館法、流山市立図書館設置に関する条例及び同管理規則に基づき、図書館資料の収集、閲覧、貸出し、読書相談、予約サービス、相互貸借及び読書普及を目的とした各種講座や集会活動の開催等の事業を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	中央図書館、地域館2館、分館3館で流山市の図書館業務を行ってきたが、平成27年4月、人口増加が著しい新市街地地区の「おおたかの森小・中学校」の中に「おおたかの森こども図書館」が開館した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 各種講座への参加者	3,200	3,851	11,043	人	↑↑↑	
	② 貸出冊数	993,427	1,073,367	1,138,848	冊	↑↑↑	
	③ 予約サービス利用件数	159,872	165,315	216,181	件	→→	
	④ 利用者数	280,809	307,442	322,904	人	↑↑↑	
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度	おおたかの森出張所でのピックアップサービス利用の増加と、子育て世代の人口増加が著しい新市街地地区に「おおたかの森こども図書館」が開館したことにより、図書館利用登録者27%及び利用者数5.1%、それに伴う貸出冊数6.1%、予約冊数13.7%と、著しい増加を見せた。		
事務事業の総コスト(a=b+c)	75,223,026	78,825,265	77,497,678				
事業費(b)(円)	30,396,446	33,911,265	33,648,978				
うち一般財源	30,396,446	33,911,265	33,648,978				
職員給与費(c)(円)	44,826,580	44,914,000	43,848,700				
人役・職員(人)	4.75	4.95	4.13				
人役・再任用(人)	0.93	0.90	1.40				
人役・臨職(人)	6.56	6.00	6.50				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	児童サービスを強化するため、各館の児童コーナーを広報でPR、また中央図書館の児童室を模様替えしイメージアップを図る。	③取組の課題	おおたかの森出張所でのピックアップサービスの利用が増えるに伴い、様々な問題が発生してきているため、検討の必要がある。
②今年度(H27)に実施した取組	各館で児童向け行事を多数開催。中央図書館では「くまかんちょう」をキャラクターとして使用し事業を展開。また、ツイッター・フェイスブックなどで情報発信に努めた。	④今後の改善計画	おおたかの森出張所でのサービスと図書館窓口でのサービスを公平なものにするための対策の精査。